

来週の「売り物」記事はこれ



2013年6月28日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

参院選が7月4日に公示され、21日の投票まで「夏の陣」が繰り広げられます。報道の柱はついに解禁される「ネット選挙」です。ブログ、フェイスブック、ツイッターなど、大容量のデジタルデータ（ビッグデータ）が日々蓄積されています。立命館大学との共同研究で、主張の重点、関心あるテーマの変化などを分析し、「ネット選挙解禁で政治は変わるのか」をしっかりと報道していきます。

政策報道も引き続き、重視します。6月26日に展開した安倍政権半年の評価に続き、アベノミクス、社会保障、原発、外交・安保など政策テーマ別に安倍政権を問います。

特別世論調査（情勢調査）は公示直後に行います。自民党1強時代を踏まえ、最初の調査が最も注目されると考えたからです。勝敗の行方に迫ります。

天才棋士の剣が峰

井山裕太七冠への挑戦

朝刊 30日（日）



史上初の六冠（本因坊、棋聖、天元、王座、碁聖、十段）に輝き、「天才」の名をほしいままにする井山裕太棋士＝写真。六冠保持は43日で終了し、今年中の前人未踏の7冠制覇はなくなりましたが、現在、本因坊戦七番勝負に挑んでいます。まだ24歳。若き天才は、夢の七冠に向けてもがき苦しんでいるように見えます。そして、苦闘にあえぎながらその目の先には

「世界」があるとといいます。大阪生まれの井山がプロを目指したのはわずか5歳の時。井山の来し方と「これから」を、当代きっての囲碁専門記者が存分に描きます。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。



生きる物語～生存率5割に挑む

朝刊 新総合面で7月2日（火）から



埼玉県鴻巣市在住の南克己さん（63）＝写真＝は、鉄道会社に長年勤務し、60歳目前で治療の難しい成人T細胞白血病（ATL）を発病、一度は余命6カ月と宣告されました。慢性型なのに急性型と誤診されたことが原因でした。その後、受けた骨髄移植でも5年後の生存率は5割程度と言われ、死の恐怖にさらされながらも厳しい治療を家族ともども乗り越えてきました。今、「ATLは治る」と訴え、患者らを励まし続けています。

男は邪魔？

夕刊特集ワイド 7月2日（火）

男性ノンフィクション作家の高橋秀美さんが書いた光文社新書のタイトルが「男は邪魔！ー『性差』をめぐる研究」。夫は家事を手伝っているつもりでも、妻からすると夫に家庭で何かすることを作ってやっているだけ。最近、男女の産み分けでは5年ほど前から女兒を希望するサラリーマン家庭が圧倒的に多いといえます。こんな「男は邪魔」現象はなぜ生まれるのでしょうか、背景に何があるのでしょうか、ではどうしたらいいのでしょうかを探りました。



みんなの船旅

くらしナビ面7月1日（月）



かつては庶民にとって「高根の花」だった船旅。今年から来年にかけ、日本発着の外国船クルーズが続々計画され、1万円台のお手ごろなツアーも増えています。好評の「みんなの〇〇」シリーズは今回、「船旅」を取り上げます。記者が9泊10日のツアーに参加。「基本」「楽しみ方」「選び方」の3回にわたって、船上での過ごし方や楽しみ方を紹介します。

中高年のアウトドア事故

くらしナビ面7月5日（金）

本格的なアウトドアの季節が到来しました。海や山でスポーツやレジャーを楽しむ行動的なシニアが増える一方、慣れない場所で思わぬ事故に遭うケースが増えています。事前の心構えや準備をはじめ、万が一、けがをした時の対処法などをまとめます。



人気！ 大人の社会科見学

くらしナビ面7月6日（土）



工場や会社のオフィス、通常は従業員以外入れないホテルのバックヤード（裏側）などを見せてくれる見学会が盛況です。最近では定年や子どもの独立で時間に余裕のできたシニアの参加者が増え、予約待ちの見学会も。「たかが見学会」と侮れない、趣向を凝らした見学会の魅力を紹介します。